



石の色や模様は、その石の生い立ちを物語っています

川底では、水の力を受けて石が転がったり、滑つたり、飛び跳ねて少しづつ移動しています。想像でできるように、石は小さいほど動かされやすく、大きいものほど動きづらくなっています。傾斜の大きな山の中では、人間の力では持ち上げられないような大きな石でさえも移動することがあります。また雨が降った時に川の水の色が茶色く濁つて見えることがあります

危険及ぼすこととも

一方で、この石たちの移動が時に危険を及ぼすこと

大きさや形、色で分かる河原の石の生い立ち

知りたい好奇心

よなかふしきわ
世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
科学、歴史など、詳しい先生に解
き明かしてもらいましょう。

夏となり、川にパーべキュー やキャンプに行く機会が増えます。河原ではさまざまな石を見ることができますが、よく見ると大きさや色が違っていることが分かりますね。さて、この石たちはどこから、どのようにやってきたのでしょうか？

川下る途中で丸く

川にある石は、水の流れとともに動いています。動き方は、川の傾斜と川の深さ（水深）によって変わります。晴れた日には水深が小さく、石を動かす力はありませんが、雨の日には水かさも上がり、流れてくる水とともに石も流れ下っているのです。

川が合流した大きな川の河原では、さまざまな山から運ばれた石が交ざり合った河原を作り上げています。また、たくさんの石たちが川を流れて下る途中で、石と石がぶつかり合ったり、擦れたりすることです。

どこから、どのようにして、ここまで流れ着いたのかを考えながら、石の形や色を観察すると面白いかもしれません。最後に、山の天気は変わりやすいので、雨が降ったり、川の水が増えてきたらすぐに帰宅して、川だけでなく山からも離れるように心がけましょう。

（山梨大大学院医学工学
総合研究部国際流域環境研究センター 柿沢一弘）